





ヤマガラ

Q&A

ヤマガラ成鳥



ヤマガラ幼鳥



ナミエヤマガラ



大島

利島

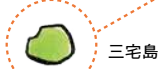
新島

神津島

オーストンヤマガラ



三宅島



ヤマガラってどんな鳥？

ヤマガラは日本全国に広く分布しているスズメ目シジュウカラ科の鳥で、1年中見ることができます。全長は約14cmで、スズメと同じくらいの大きさです（p.41のシジュウカラ、p.43のツグミとの大きさ比較の写真をご覧ください）。山雀という和名から、山地に生息しているような印象があるかもしれませんが、実際は平地でもふつうに見られます。三宅島などにいるオーストンヤマガラ、新島や神津島などにいるナミエヤマガラなどもヤマガラの仲間です。日本では身近な鳥ですが、世界的には分布が局地的で、日本や台湾、韓国などの東アジアだけに生息しています。成鳥は雌雄同色で、幼鳥は全体的に淡い色で、特に胸の黒帯は薄く感じます。

ヤマガラの好物は？

「ヤマガラ＝エゴの実」という図式が私のなかには出来上がっているほど、ヤマガラはエゴノキの実が好物です。エゴノキをはじめ、ほかの果実も食べるので、植物食だけと思われがちですが、じつは雑食で、クモやセミなども食べます。観察していると、ヒナを育てている時期は動物食が多いように感じます。また、ヤマガラは貯食（ちりじき）することでも知られています。秋～冬にかけて、ドングリをくわえて飛んで行く姿を見ることがあります。



ヤマガラと人との関係とは？

その昔、ヤマガラにおみくじを引かせる神社がふつうにあったそうですが、いま現在はそのような神社は（私が知る限り）ないと思われます。いろいろと調べてみると、「昭和30年代前半までの文化」、「国の指針（環境省と鳥獣保護法）により、失われた文化」とありました。あまり人を警戒せず、学習能力が高いので、おみくじ引きにも使われたのだと考えられます。私はヤマガラを長年、撮影していますが、好奇心旺盛で人を恐れない鳥であることは皮膚で感じています。

